

青森市内障害児通所支援

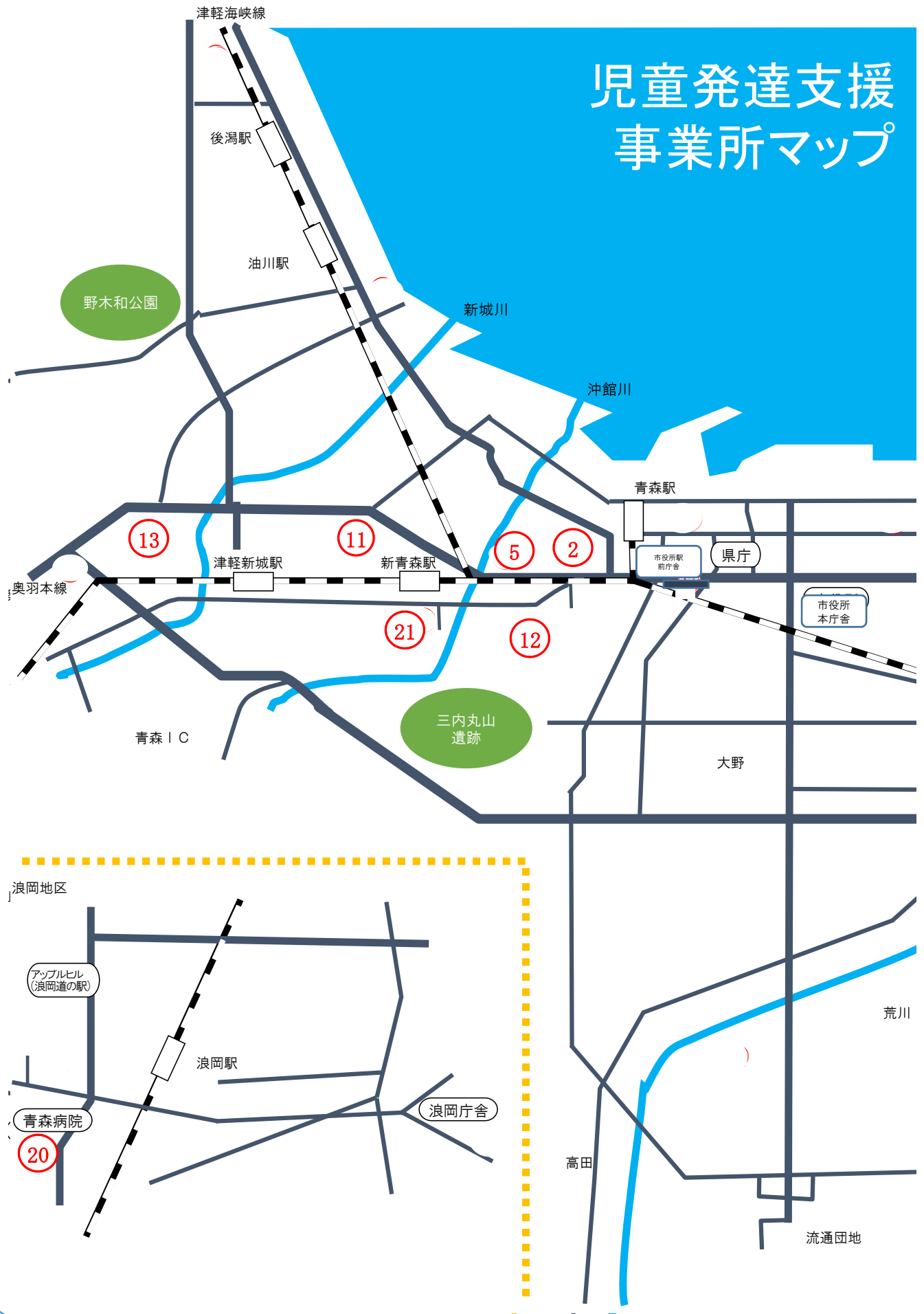
事業所調べ

(令和3年3月現在)



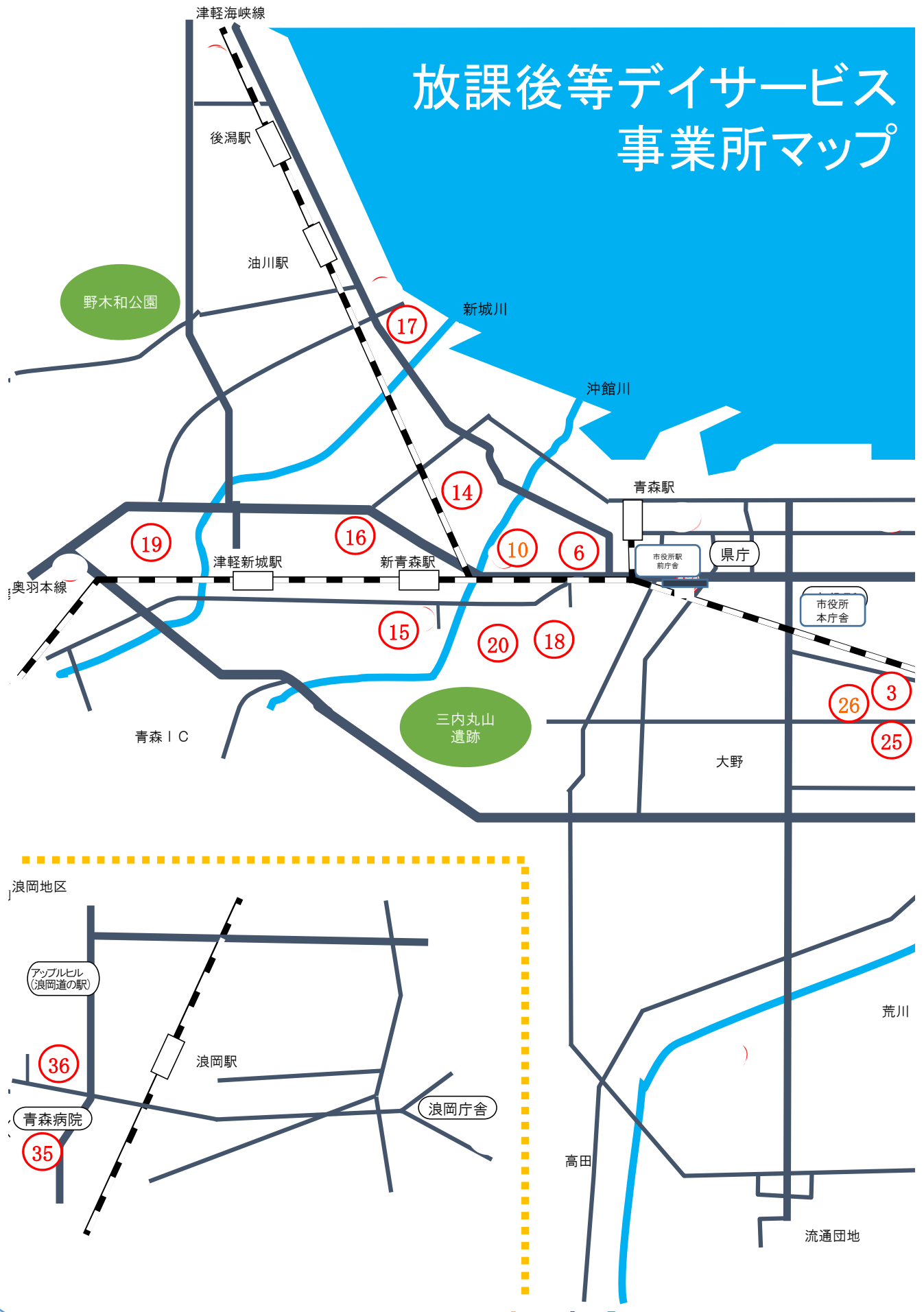
青森市 障がい者支援課作成

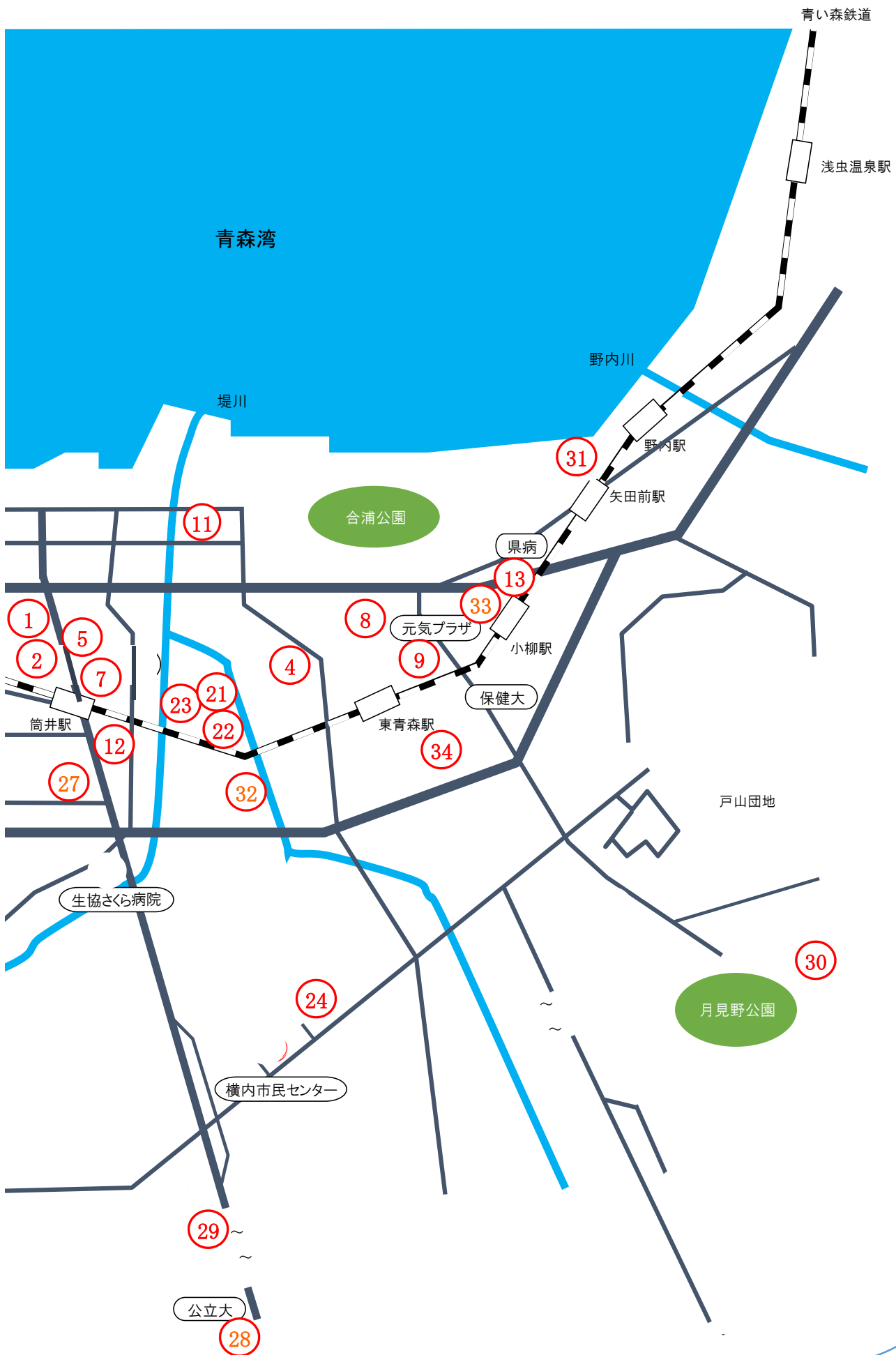
児童発達支援事業所マップ





放課後等デイサービス 事業所マップ





【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	①ゆうきっずぴあ	②こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森篠田校
2	住所	青森市勝田2丁目18-1 サニーパーク平和公園1階	青森市篠田2丁目1-4
3	電話	757-9774	763-5225
4	FAX	757-9776	763-5225
5	利用日・時間	月～金(土日祝、年末年始を除く) 9時半～12時半	火～土(祝・祭日) 10時～19時
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名	放課後等デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	現在、放課後デイサービスのみ	相談ください(2才～4才)
8	スタッフの人数	7名 (児発管1 保育士2 児童指導員2 指導員2)	5名(臨床心理士含む)
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	親子・単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	9時半登園、自由遊び、個別指導、集団指導、レクリエーション、おやつ、お片づけ	個別支援 1時間 (例)挨拶→始まりの会(小集団)→各ブースにて(個別)課題→挨拶→フィードバック
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・基本的な生活習慣を身につけること ・援助要求のスキル	個々の発達の状態に合わせ、主体性を重んじ、意欲と自信を育みます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	-	スケジュールの提示
16	保育園等を併用している児童の人数	-	11名
17	保育園等との具体的な連携内容	-	保護者様の要望により情報交換等を行っています。
18	利用相談窓口担当者氏名	管理者 新山 千尋	小山
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:00～18:00	10:00～19:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	③こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森松原校	④放課後デイサービスきらら佃
2	住所	青森市松原3丁目9-47 エクセレンス松原1階C号	青森市佃2丁目4-29 2F
3	電話	718-1237	752-8668
4	FAX	718-1237	752-8667
5	利用日・時間	火～土 10時～19時	月～金曜日(祝日営業) 10時～12時半 土・日曜日 休
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名	放課後等デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	放デイは空きなし。(今後もあく可能性は少ない) 児童発達支援は曜日・時間によって空きあり。	応相談
8	スタッフの人数	指導員4名	管理者兼児発管1名 保育士2名 児童指導員3名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	現在は受入無し
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	不可
11	送迎の有無	無	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	親子・単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別支援 1時間 (例)挨拶→始まりの会(小集団)→各ブースにて(個別)課題→挨拶→フィードバック	個別学習・運動・遊び(感覚統合を取り入れたもの) おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	個々の発達の状態に合わせ、主体性を重んじ、意欲と自信を育みます。	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子供の実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・必要に応じて構造化を行っています。 ・スケジュールの提示をして、見通しをもって行動できるように配慮しています。	スケジュールの構造化(絵、写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じ使用(社会性を養う)
16	保育園等を併用している児童の人数	29名	9名
17	保育園等との具体的な連携内容	保護者様の要望により情報交換等を行っています。	送迎時に保護者より当日の様子を伺う 要望に応じて保育園等の支援会議の出席
18	利用相談窓口担当者氏名	伊藤 壮一	管理者兼児発管 附田瑞穂
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	10:00～19:00	9:00～17:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑤放課後等デイサービス きらら篠田	⑥スリーキャニオン東青森
2	住所	青森市篠田2丁目20-2	青森市岡造道1丁目2-16
3	電話	017-718-0090	757-9371
4	FAX	017-718-0091	757-9372
5	利用日・時間	月曜日～金曜日(祝日は営業)10:00～12:30 土曜日、日曜日は休業	月曜日～金曜日 午前9:00～午後5:00まで (祝祭日、12月29日～翌年1月3日年末年始を除く) (その前後の受け入れは要相談)
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名	各日10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	応相談	曜日によって空きあり
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士4名 児童指導員1名	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士4名(内2名兼務)、児童指導員3名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	現在は受け入れ無	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム(1日の流れについて)	個別学習・運動・遊び(感覚統合を取り入れたもの)・おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り	・週2回音楽療法 ・生活支援 ・行動活動 ・集団活動(運動・季節の製作・戸外活動・畑作業等) ・昼食 ・おやつ
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援	・集団活動の楽しさを知り、ルールや順番を守るように個別の発達状況に合わせて支援している。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの構造化(絵、写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)SSTカードを場面に使用(社会性を養う)	・文字、イラストでの視覚的構造化 ・スケジュールの提示、構造化
16	保育園等を併用している児童の人数	0名	17名
17	保育園等との具体的な連携内容	送迎時に保護者より当日の様子を伺う 要望に応じて保育園等の支援会議の出席	送迎時に情報交換を行っています。 保護者様の要望により、支援者会議への出席等。
18	利用相談窓口担当者氏名	児童発達支援管理責任者 瀧澤 翼	児童発達支援管理責任者 相馬
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:30～17:00	8:30～17:30

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑦こどもプラス 青森東教室	⑧藤児童発達支援センター くれよんはうす
2	住所	青森市茶屋町6-14	青森市奥野3-7-1
3	電話	752-7875	718-3802
4	FAX	752-7876	718-3803
5	利用日・時間	月～土 10:00～12:00 日・祝日は休み、8/13～8/15、12/29～1/3 休み	月～土(9:00～17:00(8:30～17:30延長支援))
6	定員	10(放課後等デイサービスと合算)	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	火～金 4人	なし
8	スタッフの人数	保育士 2人 児童指導員1人 強度行動障害支援者1人 管理者兼児童発達支援管理責任者1人	管理者1名 児発管1名、児童指導員2名、保育士3名、事務員1名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	現在は受け入れていないが、可能
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援(※利用開始時は1～3日程度親子登園有)
13	具体的な支援のプログラム(1日の流れについて)	1.朝の会 2.運動療育プログラム(運動遊び) 3.静かな活動(絵本の読み聞かせ、フラッシュカード) 4.個別課題、製作活動	9:00～身辺処理、自由あそび、個別指導(※延長支援は8:30～) 10:00～朝の会 10:20～小集団療育活動(サーキット運動、リトミック、感覚運動、認知課題、制作、食育活動、行事等) 11:00～体育館や園庭にて粗大運動等又は散歩 11:40～給食準備、12:00～給食、13:00～休息(午睡)等 14:30～身辺処理・排泄、15:00～おやつ、15:45～帰りの会 17:30まで預かり自由あそび (15:10～個別指導)
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	座って話が聞けるように、指導員に注目できるよう工夫しています。 説明を聞き、指導員の手本をよく見て運動遊びを楽しみます。 製作活動では出来上がりを喜ぶだけではなく、その過程のひとつひとつに個別に課題を設定し、無理なく楽しみながら手指の巧緻性を高めています。	・基本的な生活習慣面の自立へ向けた支援 ・発信する力(人に助けを求めたり、依頼や要求等)を伸ばし表現を増やすこと ・自己肯定感を実感できるようにする ・自分の体を知り使いこなせるようにする(ボディイメージ) ・色々な体験を行う機会をつくり様々なものに興味関心が持てるようにする
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・文字の理解ができない子には色で物の置き場等示しています。 ・コップや連絡帳等は動線を考えた上で置く場所を決めています。 ・スケジュールは大きなホワイトボードにイラストを添えて提示しています。	・朝の支度の弁別や環境は絵カードの手がかりを活用。 ・今日の活動内容は絵カードや文字で何を行なうのか見通しを持たせて提示している。 ・個別指導等はついたて等を用いて、別の部屋で刺激を減らし注意集中できる環境を整えている。
16	保育園等を併用している児童の人数	15人(83%)	8名
17	保育園等との具体的な連携内容	・担任者会議への参加 ・電話にて支援の方向性を確認しています。 ・R3.4～保育園等訪問支援事業を始めます。	(昨年度はコロナの為、2件程度しかできなかったが) ・保育園や幼稚園に訪問して状況を確認し、課題共有を保育園側と行ない、個別支援計画に反映させたり、支援へつなげる。
18	利用相談窓口担当者氏名	川越 真紀子	児童発達支援管理者 樽澤道子
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	10:00～17:00	

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑨クラスルームなないろ	⑩BLUE PLAYS
2	住所	青森市浦町奥野289-1	青森市八重田4丁目1-9
3	電話	752-0307	090-7195-0895
4	FAX	752-0308	718-2651
5	利用日・時間	月曜日～金曜日 なないろキッズ① 9:30-11:00 なないろキッズ② 13:00-14:30	火曜日～金曜日 10:00～11:30 土曜日 10:00～16:00
6	定員	放デイと多機能で 10名	1日10名(児童発達支援・放課後等デイサービス合わせて)
7	空き状況(R2.3.1現在)	なし	火:10名 水:なし 木:なし 金:1名 土:5名
8	スタッフの人数	児発管1名 児発指導員3名	4名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	なし	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所	無
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別のスケジュールに応じて集団(グループ)活動、個別学習、おやつ、運動、おもちゃ、ブック、かんかくあそび、センサー活動があります。 (コミュニケーション、感情学習、自己認知学習、概念学習等)	10:00 事業所到着 検温 トイレ 手洗い 鉄棒ぶら下がり 10:10 朝の会 10:15 運動療育 10:45 療育終了・後片付け 10:50 清掃 11:00 個別療育 11:20 帰りの会 トイレ 乗車準備 11:30 送迎車事業所出発(保護者お迎えの場合は12:30までお預かり)
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・終了概念 ・自立的な活動間の移動 ・コミュニケーションの要求・拒否 ・スケジュールの使用 ・視覚的ツールへの注目 ・自分の好きなことを見つける ・コーピングスキル ・柔軟性 ★その他個々の発達レベルに応じて必要なこと。	・挨拶ができる・お約束を守る・援助を求める力 ・自分の気持ちを表現する能力・整理整頓・集団行動への適応 ・運動を楽しむ心の育成
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	視覚的スケジュール、物理的構造化、感覚刺激への調整	①指導療育室における、目的別のエリア分けをラインテープの色で識別できるようにする。 ②各部屋の名称と用途をひらがなとイラストで分かりやすく掲示する。 ③各プログラムの終了時、終わりを知らせるアラームを鳴らす。 ④ホワイトボード活用によるスケジュールの掲示。
16	保育園等を併用している児童の人数	10名	3名
17	保育園等との具体的な連携内容	保育所等訪問支援による訪問支援	個別支援計画・アセスメントシートの情報共有
18	利用相談窓口担当者氏名	米澤・田邊	溝江 広騎
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:30-18:30	火～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	①児童デイサービスあおねっと新青森	⑫もみの木 MIRAI
2	住所	青森市石江5丁目4-2 フラシオン103号・105号・106号	青森市大字三内字稲元108番18
3	電話	757-8106	764-6213
4	FAX	757-8107	764-6224
5	利用日・時間	月～金 9:00～17:00 ※現在は月・火・水曜日、お昼ごろまでに保育園へ送迎	月～土 9:00～13:00 ※希望の方は15:00延長あり
6	定員	20名/1日(放課後等デイサービス合わせて)	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	なし(令和2年3月末まで。4月以降は要相談)	なし
8	スタッフの人数	・所長1名(児童発達支援管理責任者) ・保育士5名/1名(児発管兼務) ・児童指導員、指導員3名	管理者1、児童発達管理者1、指導員5
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有(車輛や人員配置が困難な場合は、要相談)	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	可	単独通所
13	具体的な支援のプログラム(1日の流れについて)	個別課題、生活支援、集団活動(遊び、行事、製作活動含む) リトミック活動	登園→検温、身辺処理→朝の会→おやつ→個別療育、運動プログラム→集団療育→昼食→絵本の読み聞かせ→帰りの会→降園
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・集団に慣れる(集団で活動すること) ・座って活動に取り組めるようになること ・生活支援全般	1、生活のリズムや生活習慣の形成 2、姿勢と運動・動作の向上 3、空間・時間・数等の概念形成の習得 4、言語の形成、コミュニケーションの能力向上 5、他者との関わり形成、仲間づくりと集団への参加 6、リトミック指導(感覚陶冶)
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・スケジュール、絵カードでの視覚支援 ・色、イラスト、文字、写真、パーテーション、ブース机等室内環境整備 ・コミュニケーションツールでの意思表示支援	・生活や活動の節目で具体物、写真、絵カードなどでスケジュールを提示する ・パーテーションの設置で安心して過ごせるよう配慮している ・クールダウンスペースを確保
16	保育園等を併用している児童の人数	6名	13人
17	保育園等との具体的な連携内容	・保育園の活動の様子等の情報確認と共有	担当者会議を開き、情報の交換を行っている
18	利用相談窓口担当者氏名	前田	大村 育子
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:00～17:00	9:00～17:00

【西部・北部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑬エジソンキッズ	⑭児童デイサービスあおねっと青森南
2	住所	青森市新城字山田436-2	青森市大字大矢沢字里見92-1
3	電話	764-0181	757-9165
4	FAX	764-0182	757-9166
5	利用日・時間	月～金 9:00～17:00 土曜イベントあり	・月～金 9:00～17:00 (現在、月・火・水・木 9:00～12:00)
6	定員	放課後等デイサービスとあわせて10名	放課後等デイサービスと合わせて 10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	あり	なし(令和4年3月末まで空きがない状況。)随時要確認
8	スタッフの人数	7名	統括管理責任者1名 所長兼児童発達支援管理責任者1名 保育士4名 児童指導員1名 指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有(範囲は要相談)	有 (自宅の他、こども園等 昼食、お昼寝の時間前までに送迎している)
12	単独通所支援又は親子通所支援	親子・単独通所支援	単独通所
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	★集団療育(必要な場合、個別支援) 昼食の時間、帰る時間と、その日のテーマの大枠を設定し、フリータイムは子どもの選択する遊びの中から個別支援計画に沿った支援をしていく	個別・集団・生活支援(季節ごとの行事含む)
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	就学後、6年生の大きい子にもびっくりしないよう、定期的に放課後等デイの大きい子たちと異年齢交流をして、人を信頼する心と、相手と調和する力などのコミュニケーション能力を育む支援を重要視している。 障害や、個々の発達に合わせた支援、交流を行う。話をよく聞いて、その子の選択を重視する。	・コミュニケーションツール等を使用することで、始まりと終わりを知ること。思いを伝え、できることを増やし自信をもって課題や活動に取り組めるようになること。 ・ご家族以外の人からの援助を受けられるようになること。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	絵カードやタイマー、安静室などの環境整備と、子どもの話によく耳を傾けて気持ちを聴き取り、その日の構造化を柔軟に行っている。	・事業所内のエリアごとにパーテーションの設置と、視覚的支援(スケジュール、コミュニケーションツールを使用した絵カード等での支援)
16	保育園等を併用している児童の人数	6名	7名中7名
17	保育園等との具体的な連携内容	保育園の行事に参加したり、お互いに訪問や情報交換を行い、連携して療育できるよう、情報共有している。	・こども園等の活動や行事等の状況の情報共有と手順書の提供、生活場面課題の共有
18	利用相談窓口担当者氏名	内山 秀貴	工藤 志穂
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	14:00～17:00	9:00～17:00

【南部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑮ デイサービスセンターあおば	⑯ こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森桜川校
2	住所	青森市桜川9丁目11-6	青森市桜川6丁目14-10
3	電話	752-0562	718-3395
4	FAX	718-3211	718-3395
5	利用日・時間	月～金 9:00～13:30	火～土 10時～19時
6	定員	多機能型で10名	放課後デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	見学等の受入要相談。	要相談(平日午前中)
8	スタッフの人数	管理者(兼務)1名、児発管1名、支援員5名	4名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	限定的に送迎	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所	親子・単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別活動、集団活動、昼食、行事活動	個別支援 1時間 (例) 挨拶→始まりの会(小集団)→各ブースにて(個別)課題→挨拶→フィードバック
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	視覚的支援を活用する力 自発的なコミュニケーションスキル 援助要求のスキル	個々の発達の状態に合わせ、主体性を重んじ、意欲と自信を育みます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	物理的構造化、視覚的構造化、スケジュールワークシステム	スケジュールの提示
16	保育園等を併用している児童の人数	14名	10名
17	保育園等との具体的な連携内容	自閉症の特性や視覚的支援の活用方法について(保育所等訪問支援等)	保護者様の要望により情報交換等を行っています。
18	利用相談窓口担当者氏名	田中 貴子	櫻庭
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	14時～17時30分	10:00～19:00

【南部】

【東部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑰Eat-in by きらら	⑱児童発達支援センターやまぶき園
2	住所	青森市浜田2丁目15-16	青森市雲谷山吹92-285
3	電話	017-763-5570	738-5564
4	FAX	017-763-5576	738-6411
5	利用日・時間	月曜日～金曜日(祝日は営業)10:00～12:30 土曜日、日曜日は休業	月～土 8時～16時45分
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名	20名
7	空き状況(R2.3.1現在)	有り	4～5名
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士3名 児童指導員1名 指導員1名	8名 (管理者、児童発達支援管理責任者は除く)
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	無	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能 ・その他(あれば記載)	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有り	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	親子・単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム(1日の流れについて)	個別学習・運動。遊び(感覚統合を取り入れたもの) おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り	集団支援:課題活動(身辺自立、運動、社会性、表現など、児童発達支援ガイドラインの項目などを参考にプログラムを作成)、食育指導、家族支援 個別支援::週1回、1対1のかかわりの中で言語、認知、社会性等、発達を促すための支援を行っている。
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	特性の理解と状況に合わせた対応 TACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援	課題に取り組む姿勢と集中持続時間の向上 コミュニケーション手段の獲得 など
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの構造化(絵・写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じ使用(社会性を養う)	1日の流れを絵カードや写真を使いことばでの指示だけではなく、視覚情報も取り入れ、子どもがわかりやすい方法を取り入れています。
16	保育園等を併用している児童の人数	まだなし	28名
17	保育園等との具体的な連携内容	保護者に同意を得た上で情報交換 緊急連絡体制の確認	保護者から要望があったときなど、併用している園を互いに訪問し、情報交換等を行うようにしています。
18	利用相談窓口担当者氏名	児童発達管理責任者 遠山 裕一	鳥山、工藤
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	管理者兼児発管 遠山 裕一 9:00～17:00	8時～16時30分

【南部】

【浪岡地区】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑱児童支援事業所ハピネス	⑳独立行政法人国立病院機構 青森病院 多機能型通所支援事業 あお空
2	住所	青森市大字浜館字見取26-12	青森市浪岡大字女鹿沢字平野155-1
3	電話	017-718-5785	0172-62-4055
4	FAX	017-718-5786	0172-62-7289
5	利用日・時間	月曜～金曜 9:00～17:30	月～金 8:30～16:30(土日祝休業)
6	定員	10名	5名
7	空き状況(R2.3.1現在)	空きなし	曜日によって空きあり
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士3名 運転手1名	4名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能
11	送迎の有無	有	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援のみ	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	健康状態の確認→荷物の整理、連絡帳の提出→はじまりの会(あいさつ、出席確認、お返事)→自由あそび→小集団活動→おやつ→自立課題、1対1でお勉強→トイレ→自由あそび→おわりの会	健康チェック、日中活動、昼食、日中活動、おやつ(入浴は希望者のみ、曜日によって時間帯が違う)
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	他者を認識する、他者のお話を聞く、お座りをするを重点に支援を実施。また、自立課題を通し、自分で理解し、自分一人ですりやける達成感を感じられるように行っている。	個々の発達に合わせて成長していけるように支援している。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	必要に応じてスケジュールの活用や絵カード等の支援を実施。部屋の配置は構造化を適用している。	重症児対象のため、発達障害の受け入れなし。
16	保育園等を併用している児童の人数	利用者の9割以上は保育園・幼稚園を併用	なし
17	保育園等との具体的な連携内容	保育園や幼稚園を訪問し、園での状況を確認しながらお子さんの状態を確認。また、送迎時に通所時の様子等を直接園の先生に報告している。	なし
18	利用相談窓口担当者氏名	鹿内 さやか(管理者兼児発管)	児童指導員 澤田 周平
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:00～17:00	8:30～17:05

【西部・北部】

No.	種類	医療型児童発達支援
1	事業所名	②青森県立あすなろ療育福祉センター
2	住所	青森市大字石江字江渡101
3	電話	781-0174(内線41)
4	FAX	766-4396
5	利用日・時間	月～金(祝日、年末年始を除く)
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名/日
7	空き状況(R2.3.1現在)	あり
8	スタッフの人数	多機能型 管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員(保育士)1名、保育士4名、看護師2名(内1名は兼務)、医師2名、PT1名(管理者、医師、PTは診療部と兼務)
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	可(現在、通所児は全員車椅子またはバギーを使用)、重傷心身障害(重度の知的障害と肢体不自由が重複)又は肢体不自由のある児童を対象とする
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ・その他(導尿、胃ろう)
11	送迎の有無	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	親子通所支援 (年長で要件を満たす児童については、週1回単独通所支援)
13	具体的な支援のプログラム(1日の流れについて)	来所→検温→自由遊び→朝の会・設定保育→昼食→帰りの会(母子分離)→退所 年長の母子分離実施児童は午後に個別活動を実施する。
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	保護者以外の人とかかわりや介助を受け入れられること。 集団の中でルールや順番を守ることができること。 自分でがんばる気持ちを育てること。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	重症心身障害児または肢体不自由児を対象とし、発達障害の受入れは無し
16	保育園等を併用している児童の人数	保育所3名、児童発達支援3名
17	保育園等との具体的な連携内容	事業所見学の受け入れ
18	利用相談窓口担当者氏名	及川
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:30～16:45

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	①放課後等デイサービス まあむ	②レスパイトハウスWA
2	住所	青森市中央1丁目27-5	青森市中央4丁目7-8
3	電話	090-2846-5337	723-1565
4	FAX	735-1501	723-1565
5	利用日・時間	月～土 平日11時～17時、 土曜9時～17時	登校日 13:30～17:00 休校日 月～土 10:00～16:00
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	若干名	なし
8	スタッフの人数	5名(児発管1名、指導員又は保育士4名)	管理者1名 児発管1名 事務1名 児童支援員6名(社会福祉士2名 保育士2名)
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり(学校～まあむ、まあむ～自宅)	あり(一部地域、学校によっては出来ないこともあります)
12	主に支援を行っている年齢層	6歳(小1)～15歳(中3)	小学校1年～中学校3年
13	具体的な支援のプログラム(1日の流れについて)	学校の宿題(まあむ課題)、フリータイム、おやつ、フリータイム(まあむ課題)、送迎	・個別支援計画に合わせたスケジュールでの提示で活動を促している。 登所→手洗い→うがい→課題(自立)→おやつ→歯磨き→余暇→課題(個別)→好きな活動→課題(自立、個別)等 ・文字、文字+写真、イラスト+文字等の視覚支援。 ・季節に応じた創作活動、行事(集団)。 ・余暇スキルの習得(買い物、調理、家事等)
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	健康面や安全面について配慮している	・他害等に配慮し、事故や怪我につながらないよう安全に過ごす為の居住環境等の点検の実施。 ・子供達にとって、楽しく学び、遊べる場所であること。 ・個々のレベルに応じたスキルの上(スモールステップ)自発的行動 ・余暇スキルの取り組み ・皮膚・食物アレルギーに関する事前の聞き取り ・健康観察
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	行っている	・視覚的構造化(写真、文字、イラスト等)を個々に合わせて行っている ・物理的環境の整備、構造化(パーテーションの利用及びクールダウンスペースの設置等で配慮)
16	就労している母親への配慮	母の帰宅時間に合わせて送迎時間を設定している	・日中一時支援事業 ・レスパイト事業(無認可)1時間500円
17	学校との具体的な連携内容	学校でのその日の様子やまあむでの様子を話す 情報交換はしている	・三者面談 ・迎えに行った時に学校での様子を教えてもらう ・移行支援会議や担当者支援会議 ・学校見学会 ・施設見学の受け入れ
18	利用相談窓口担当者名	橋 高広	管理者 石岡 裕子 児童発達支援管理責任者 松尾侑輝
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	9時～12時	11:00～18:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	③ライフサービスあおば デイサービスセンターすこやか	④ライフサポートあおば チャレンジサポートすこやか
2	住所	青森市緑3丁目3-16	青森市松森2丁目11-13
3	電話	762-7570	752-1751
4	FAX	762-7571	752-1951
5	利用日・時間	祝日及び年末年始を除く月曜日から金曜日 授業終了日 下校～16:45 休業日 9:00～15:45	祝日及び年末年始を除く月曜日から金曜日 授業終了日 下校～17:00 休業日 9:00～15:45
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	要相談	なし(超過での受入は要検討)
8	スタッフの人数	管理者1名(兼務) 責任者1名 支援員4名※全常勤	管理者1名 責任者1名 支援員4名※全常勤 非常勤支援員1名
9	車椅子を使用している児童の受入	難しい	難しい
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	自宅:浪岡・浅虫・雲谷を除く青森市内 学校:青森第二養護学校のみ	学校:青森第二養護学校及び第一高等養護学校
12	主に支援を行っている年齢層	6歳(小1)～15歳(中3) ※チャレンジサポートへのエスカレート式な移行	12歳(中1)～18歳(高3) ※デイスこやかからのエスカレート式な移行
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	自立を目指した支援 (気づき・視覚支援、コミュニケーション、余暇) 1日1回以上のおやつ提供	自立を目指した支援 (気づき・視覚支援、コミュニケーション、余暇) 1日1回以上のおやつ提供
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	特性を確認し、個別化して、アセスメント情報に基づいた環境的配慮(物的・人的)。 物的…構造化。 人的…介入方式など。	特性を確認し、個別化して、アセスメント情報に基づいた環境的配慮(物的・人的)。 物的…構造化。 人的…介入方式など。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	お子さんのアセスメントを実施し、必要な環境的配慮(物的・人的)を用い、お子さんの発達を促します。 ※構造化・コミュニケーション支援。	お子さんのアセスメントを実施し、必要な環境的配慮(物的・人的)を用い、お子さんの発達を促します。 ※構造化・コミュニケーション支援。
16	就労している母親への配慮	現在設定されている営業時間 できる範囲での送迎順の調整 詳しくは要相談	現在設定されている営業時間 できる範囲での送迎順の調整 詳しくは要相談
17	学校との具体的な連携内容	保護者の同意のもと、担任の先生との情報共有を行っている。(会議への参加含む)	保護者の同意のもと、担任の先生との情報共有を行っている。(会議への参加含む)
18	利用相談窓口担当者名	中谷 健太郎(762-7570) 前中 貴次	晴山 朋樹(752-1751) 前中 貴次
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	10:30～15:00	10:30～15:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑤ゆうきっず ぴあ	⑥こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森篠田校
2	住所	青森市勝田2丁目18-1 サニーパーク平和公園1階	青森市篠田2丁目1-4
3	電話	757-9774	763-5225
4	FAX	757-9776	763-5225
5	利用日・時間	月～金 下校時間～17:00	火～土(祝・祭日) 10:00～19:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	児童発達支援と合わせて10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	なし	なし
8	スタッフの人数	7名(児発管1 保育士2 児童指導員2 指導員2)	5名(臨床心理士含む)
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	なし
12	主に支援を行っている年齢層	小学1年生～中学生	小学生～高校生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	おやつ 宿題 個別課題 集団活動:月・金—ビジョントレーニング、レクリエーション、 製作、買い物練習 水—リトミック教室 長期休み:季節の行事、自由遊び	個別支援 1時間 (例)挨拶→今日の流れ→課題→挨拶→フィードバック
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	個々の特性に合った接し方で、それぞれが少しずつ成長していけるような活動を取り入れたり課題に取り組みせたりしている。 個々の特性に合った支援を行い、子どもたちにとって楽しい場所であるようにしている。	言葉、認知、コミュニケーションに加え、発達に遅れや偏りが見られるお子様には、将来の自立に向け必要なスキルの習得を促していきます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	物理的構造化・スケジュール・ワークシステム・視覚的構造化をここに合わせ、子どもたちにとって楽しい場所であるようにしている。	スケジュールの提示
16	就労している母親への配慮	要望に応じて可能な範囲で対応	要望に応じて可能な範囲で対応
17	学校との具体的な連携内容	学校行事の見学 事業所体験の受け入れ 担当者会議への参加 保護者了解を得て学校迎え時担任教諭と情報交換を行っている。(個別支援の見学等を含む)	保護者様の要望により情報交換等を行っています。
18	利用相談窓口担当者名	管理者 新山 千尋	小山
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:00～18:00	10:00～19:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑦こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森松原校	⑧ピリブ児童デイサービス青森東
2	住所	青森市松原3丁目9-47 エクセレンス松原1階C号	青森市浪打1丁目14-3
3	電話	718-1237	752-0111
4	FAX	718-1237	752-0112
5	利用日・時間	火～土 10時～19時	月～金曜日 10:00～17:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	なし	空きなし
8	スタッフの人数	指導員4名	常勤2名 非常勤6名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	あり
12	主に支援を行っている年齢層	小学生～高校生	小1～高校3年生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別支援 1時間 (例)挨拶→今日の流れ→課題→挨拶→フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・セッション(個別療育) ・おやつ ・自由遊び ・集団レクリエーション ・リズム体操 ・帰りの会
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	言葉、認知、コミュニケーションに加え、発達に遅れや偏りが見られるお子様には、将来の自立に向け必要なスキルの習得を促していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達段階に合わせて、活動プログラムを組み立てる ・体験する機会を多くもたせる ・将来を見据えて、個別支援計画を作成する
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて構造化を行っています。 ・スケジュールの提示をして、見通しをもって行動できるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールの利用 ワークシステムの使用 視覚的構造化
16	就労している母親への配慮	必要に応じて対応を行っています。	開所時間の延長
17	学校との具体的な連携内容	保護者様の要望により情報交換等を行っています。	学校の支援会議等への参加
18	利用相談窓口担当者名	伊藤 壮一	加藤
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	10:00～19:00	平日9:00～18:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑨放課後デイサービスきらら佃	⑩放課後デイサービスきらら篠田
2	住所	青森市佃2丁目4-29 2F	青森市篠田2丁目20-2
3	電話	752-8868	718-0090
4	FAX	752-8867	718-0091
5	利用日・時間	月～金曜日(祝日営業) 学校登校日 13時30分～17時30分 学校休業日 10時～17時	月～金曜日(祝日は営業) 土日曜 休 学校登校日 13:30～17:30 学校休業日 10:00～17:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	10名(児童発達支援と合わせて)
7	空き状況(R2.3.1現在)	応相談	応相談
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士2名 児童指導員3名	管理者兼児発管1名 保育士4名 児童指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入	現在は受け入れなし	現在は受け入れなし
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	あり
12	主に支援を行っている年齢層	小学生、中学生、高校生	小学生 中学生 高校生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別学習・運動。遊び(感覚統合を取り入れたもの) おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り	個別支援・運動・遊び(感覚統合を取り入れたもの)・おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	特性の理解と状況に合わせた対応 TACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子供の实態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの構造化(絵・写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じ使用(社会性を養う)	スケジュールの構造化(絵、写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じて使用(社会性を養う)
16	就労している母親への配慮	応相談	応相談
17	学校との具体的な連携内容		送迎時に担任の先生より当日の様子を伺う 要望に応じて学校支援会議の出席
18	利用相談窓口担当者名	管理者兼児発管 附田瑞穂	児童発達支援管理責任者 瀧澤 翼
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:00～17:00	9:30～17:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑪こどもプラス 青森東教室	⑫クラスルームなないろ
2	住所	青森市茶屋町6-14	青森市浦町奥野289-1
3	電話	752-7875	752-0307
4	FAX	752-7876	752-0308
5	利用日・時間	月～金 13:00～17:00 土・学校休業日 10:00～17:00 日・祝日は休み、8/13～8/15、12/29～1/3 休み	月曜日～金曜日 15:30～16:30 なないろライフ① 17:00～18:00 なないろライフ②
6	定員	10(児童発達支援と合算)	児発と放デイの多機能で 10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	無	なし
8	スタッフの人数	保育士2人、児童指導員1人、強度行動障害支援者1人、管理者兼児童発達支援管理責任者1人	児発管1名、児童指導員3名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	なし
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有 ・保護者の希望がある場合 ・送迎範囲有	なし
12	主に支援を行っている年齢層	小1～小5	小1～高3
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	・運動療育プログラム ・静かな活動 ・個別課題 ・製作活動 ・食事、おやつ ※利用時間や利用児童により変動有	・ソーシャルスキルトレーニング ・聞きとりワーク ・集団遊び ・余暇活動
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・運動療育がメインのため、ケガ防止の準備体操は必ず行っています。 ・個別支援計画に添って、個々の能力に合わせた運動療育をしています。 ・できなかった運動ができるようになった時にはたくさんほめて、自信につなげています。	個別指導のため、個々に合わせた支援内容とプログラムになっています(お子さんによってプログラム内容が違います)。 認知レベル・発達レベルに合わせた内容。 個別のカウンセリングや相談が多いため、個室での活動となっています。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	大きなホワイトボードにイラスト付きのスケジュールを掲示しています。低学年の児童のために、漢字にはルビをふっています。	認知レベルに合わせた視覚的スケジュール提示をしています。 物理的構造化を行い、感覚の問題に配慮するため刺激の統制をしています。
16	就労している母親への配慮	送迎の時間や場所を母親の希望に合わせています。	外出介護やタクシーを利用して通所可。
17	学校との具体的な連携内容	・学校送迎で担任の先生からお話があった場合、こどもプラスの様子を伝えたりして、情報を共有しています。 ・相談支援事業所から学校訪問での情報を聞いて支援に生かしています。	保育所等訪問支援を利用しているお子さんが多いため、定期的に訪問支援を行っています。
18	利用相談窓口担当者名	・R3.4～保育所等訪問支援業務を始めます。 川越 真紀子	田邊・米澤
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	10:00～17:00	9:30～18:30

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑬BLUE PLAYS	⑭放課後等デイサービスぱぶりか
2	住所	青森市八重田4丁目1-9	青森市富田3-16-50
3	電話	090-7195-0895	782-1666
4	FAX	718-2651	782-1679
5	利用日・時間	水曜日～金曜日 14:00～17:00 土曜日 10:00～16:00	月曜日～土曜日(祝祭日を含む) 平日13:30～17:30 休校日 9:00～16:00
6	定員	1日10名(児童発達支援・放課後等デイサービス合わせて)	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	水:なし 木:なし 金:1名 土:5名	10名
8	スタッフの人数	4名	8名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	有
12	主に支援を行っている年齢層	小学校1年生～高校3年生まで	
13	具体的な支援のプログラム(1日の流れについて)	14:00(または各学校放課後) 事業所到着 検温 トイレ 手洗い 鉄棒ぶら下がり 15:50 はじめの会 16:00 運動療育 16:40 後片付け 清掃 手洗い 16:45 おやつ 16:55 帰宅準備 17:00送迎車事業所出発(保護者お迎えの場合は17:45までお預かり)	<平日>(例) 14:30 始まりの会・健康確認 16:15 休憩 17:15 終わりの会 15:00 自主学習 16:20 ココロマップ 15:45 おやつ 16:40 休憩 16:00 集団体操 16:50個別ゲーム・運動 <休校日>(例) 10:00 始まりの会・健康確認 13:00 休憩 15:00 おやつ 10:30 集団体操 13:15 運動 15:15 運動かゲーム 10:45 休憩 13:45 休憩 15:45 帰りの会 11:00 ココロマップ 14:00 個別ゲーム 12:00 昼食 14:45 バランサー
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	①個別の運動能力に応じた指導方法の工夫 ②運動による事故の防止 ③運動療育に参加できない場合の見学スペース設置 ④運動器具の活用方法の工夫 ⑤手順書を活用した清掃指導	・大画面タッチパネルを使った集団トレーニングに、全身を使って頭で考えて、楽しみながら学べる環境の提供をします。 ・身体を動かすトレーニングや社会性を育むトレーニングをします。 ・デジタル認知テストを用いて認知機能のアセスメントを行い、お子様一人ひとりの発達の特性、偏りに合わせた学習や訓練などの支援を行います。その他に楽しく過ごせる工夫や余暇活動の提案、今後の外出等検討していきます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	①指導療育室における、目的別のエリア分けをラインテープの色で識別できるようにする。 ②各部屋の名称と用途をひらがなイラストで分かりやすく提示する。 ③各プログラムの終了時、終わりを知らせるアラームを鳴らす。 ④個別療育室の学習机に仕切りを設置することにより、他者に干渉されにくく集中できる環境を設定。	・個々のスケジュールの活用。 タイマー等活用して「終わり」を教えていきます。
16	就労している母親への配慮	①事業所による送迎 ②保護者送迎の場合によるお預かり時間の設定	保護者様からの家での困り事の相談の要望に対して、面談等の場を設けます。
17	学校との具体的な連携内容	①個別支援計画・アセスメントシートの情報共有 ②学校訪問(利用者観察)による支援方法の検討	今後、学校や担任等と連携していきます。
18	利用相談窓口担当者名	溝江 広騎	齊藤良子
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	火～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00	平日 10:00～13:30

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑮青森県あすなる療育福祉センター	⑯児童デイサービスあおねっと新青森
2	住所	青森市大字石江字江渡101	青森市石江5丁目4-2 フラシオン103・105・106号
3	電話	781-0174(内線41)	757-8106
4	FAX	766-4396	757-8107
5	利用日・時間	月～金(祝日、年末年始を除く) 授業終了後は12:00～16:45 学校休業日は8:45～16:45	月～金曜日 9:00～17:00
6	定員	医療型児童発達支援と合わせて10名/日	20名/1日(児童発達支援とあわせて)
7	空き状況(R2.3.1現在)	曜日によってあり(令和3年4月では無し)	なし
8	スタッフの人数	多機能型 管理者1名 児童発達支援管理責任者1名 児童指導員 (保育士)1名、保育士4名、看護師2名(内1名は兼務)、医 師2名、PT1名(管理者、医師、PTは診療部と兼務)	所長1名(児童発達支援管理責任者) 保育士5名/1名(児 童発達支援) 児童指導員・指導員3名
9	車椅子を使用している児童の受入	可(現在、通所児は全員車いす使用)	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ・その他(導尿、胃ろう)	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	あり(車両や人員の配置が困難な時は要相談)
12	主に支援を行っている年齢層	小1から高校3年生 主な対象は重症心身障害児	小学校1年生～高校3年生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	来所→検温→昼食→プログラムに沿った活動(集団活動、 季節の製作や行事など)→おやつ(水分補給)→個別支援	個別課題・生活支援・集団支援(行事、余暇活動、製作活 動を含む)
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	安全な医療的ケア(吸引、注入、導尿)。発作、熱がこもりや すい等の体調管理、及び車椅子での姿勢、ポジショニ ング、摂食時の姿勢管理。 感覚刺激を多く取り入れた触れ合い遊び	・事業所の活動が安心して楽しく感じられるようにしている。 ・自立した生活が送れるように基本的日常生活動作等、事 業所での活動を通じて成功体験を積み本人の出来ることを 増やし、自己肯定感を持てるようにする ・中学生からは就労系の作業課題も取り入れている
15	発達障害の児童に対する 構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケ ジュールや部屋の配置等を わかりやすく提示すること。	重症心身障害児を対象とし、発達障害の受け入れはなし	・スケジュール、絵カードでの視覚支援 ・色、イラスト、文字、写真、パーテーション、ブース机等室 内環境整備 ・コミュニケーションツールでの意思表出支援
16	就労している母親への配 慮	特になし	延長支援、送迎の時間調整
17	学校との具体的な連携内 容	①青森第一養護学校とは入所時の申し送り ②青森第一養護学校、センター連絡会議に出席 ③学校見学会への参加。事業所見学の受け入れ	・学校と児童の支援方法について会議等を開催して支援方 法の共有化、情報交換している ・送迎時の情報交換
18	利用相談窓口担当者名	及川	前田
19	利用相談窓口担当者と連 絡がとりやすい時間帯	9:30～16:45	9:00～17:00

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑰ビリーブ児童デイサービス青森西	⑱もみの木 MIRAI
2	住所	青森市油川千刈113-1	青森市大字三内字稲元108-18
3	電話	787-1261	017-764-6213
4	FAX	787-1262	017-764-6224
5	利用日・時間	月～金 10時～17時	月～金 14:00～17:00
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	空きなし	なし
8	スタッフの人数	管理者1名 児童発達支援管理責任者1名 常勤(児童指導員)1名 非常勤 保育士1名 児童指導員5名	管理者1名 児童発達管理者1名 指導員5名
9	車椅子を使用している児童の受入	可能	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	現時点では ・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	あり
12	主に支援を行っている年齢層	6歳～18歳(小学1年生～高校3年生)	小学生 中学生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	・セッション(個人療育) ・おやつ ・自由遊び ・集団レクリエーション ・リズム体操 ・帰りの会	入所→始まりの会→身辺処理→検温→学校課題→個別療育→おやつ→集団療育→絵本の読み聞かせ→帰りの会→送迎確認→退所 ※体育指導、リトミック指導あり
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・個々の発達段階に合わせて、活動プログラムを組み立てる ・体験する機会を多くもたせる ・将来を見据えて、個別支援計画を作成する	・発達支援 体験を通して自己肯定感の育成 自己理解、他者理解 自己コントロール方法の獲得 ・ソーシャルスキルの獲得 ・余暇支援 好きな遊びを見つけ、趣味を確立し居場所づくりを支援 リトミック、体育指導を通し、感覚陶治・バランス機能強化
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・スケジュール等の利用 ・ワークシステムの利用 ・視覚的構造化	・スケジュールの提示 ・パーテーションの設置で集中できる環境、安心して過ごせるよう配慮 ・多目的ホールで運動や遊びをする
16	就労している母親への配慮	開所時間の延長(8:00～18:00)	要望に応じて可能な範囲で対応
17	学校との具体的な連携内容	学校の支援会議等への参加	保護者の要望を踏まえ、担任や学校との共有を行う
18	利用相談窓口担当者名	小鹿	大村 育子
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	平日9時～18時	9:00～17:00

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑱エジソンキッズ	⑳放課後等デイサービス レスパイトハウスTOMO
2	住所	青森市新城市山田436-2	青森市大字三内稲元109-38
3	電話	764-0181	781-5553
4	FAX	764-0182	718-5539
5	利用日・時間	月～金 9:00～17:00 土曜イベントあり	月～金 下校時～18:00 休校日(土曜日含) 10:00～18:00
6	定員	児童発達支援とあわせて10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	あり	若干名
8	スタッフの人数	8名	管理者兼児発管1名、社会福祉士(児童指導員)1名、 保育士3名、支援員1名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	現在は不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり(範囲は要相談)	・青森県立青森第二養護学校 ・事業所 ↔ 自宅
12	主に支援を行っている年齢層	6歳から18歳まで	小学生～中学生、令和4年度より高校生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	★集団療育(必要な場合、個別支援) おやつの時間、帰る時間と、その日のテーマの大枠を設定し、フリータイムは子ども達と相談して活動内容を決め、遊びの中から個別支援計画に沿った支援をしていく	長期休み 登所→検温→手洗い・うがい→排泄→課題→休憩→課題→休憩→(行事等)→休憩→昼食・歯磨き・うがい→ラジオ体操→課題→休憩→課題又は行事→おやつ・歯磨き→課題→休憩→16:00帰宅 平日 ・下校・登所→検温・手洗い・うがい・排泄→課題→休憩→課題(行事含む)→おやつ・歯磨き・顔洗い→課題→休憩×2回ほど→17:00帰宅
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	★★★可能性を伸ばす療育★★★ 職場体験、買い物、料理、掃除、運動など、多様な環境を作り、子どもの素質と可能性を発見し伸ばす。 ★★★自信を育てる療育★★★ いけないことをしても指示・命令せずに、気持ちを聞きとり、やり直し、成功体験で終われるよう支援する。 ★★★インクルージョン教育★★★ 社会に出て困らないように、一般参加者とイベント活動を行ったり、昭和の公園のように異年齢の中で、生きる力を養う。	・子供達の安全とコロナ感染症において、検温・換気・密等に配慮し、活動を行っている。 ・視覚優位のお子さんが多い為、視覚的支援(スケジュール、写真、イラスト、具体物等)を取り入れ、自分で出来る事をスモールステップで増やしていけるよう支援に取り組んでいる。 ・自主性の尊重と褒めて伸ばすよう、職員の言葉がけに配慮している。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	絵カードやタイマー、クールダウンスペースなどの環境整備と、子どもとの話し合いでその日の構造化を柔軟に行っている。	・個々に合わせたスケジュールの設定(スケジュールの長さや、イラスト+絵、又は文字+時間など) ・お子さんによっては具体物での提示を行っている。 ・課題室においては環境又は物理的構造化(机の配置やパーティションの活用)を行っている。 ・絵カード使用。
16	就労している母親への配慮	・就業中などにも配慮して、LINEなど多様な連絡方法に対応 ・親御さんに合わせた送迎時間の調整	・長期休みや、17:00以降での居残りのお子さんに対応。 ・移送サービス利用についてのアドバイス。
17	学校との具体的な連携内容	・不登校の児童が出席認定できるように、施設への出席状況を学校に送付対応している ・小学校のすこやか会議や中学校で思春期教室などに、講師やPTA副会長として学校現場にも入りながら、情報交換や連携を行っている	・学校、相談支援事業所、家庭から担当者会議の依頼があれば、出来る限り参加している。 ・送迎時、お話しする機会があれば、お子さんの状況を確認させて頂くことがある。
18	利用相談窓口担当者名	内山 秀貴	管理者、児童発達支援管理責任者 三國 芳子
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	14:00～17:00	11:00～13:00

【南部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	①デイサービスセンターあおば	②ジョブアカデミー桜川
2	住所	青森市桜川9丁目11-6	青森市桜川7丁目15-31 NFビル1階
3	電話	752-0562	764-0434
4	FAX	718-3211	764-0434
5	利用日・時間	月～金 15:45～17:15	月～金 放課後 13:00～17:30 学校休業日 11:30～17:30
6	定員	多機能型で10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	調整中	なし
8	スタッフの人数	管理者(兼務)1、児発管1、支援員5	6名(管理者兼児発管1名 保育士3名 児童指導員1名 指導員1名)
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	要相談
10	医療的ケアが必要な児童の受入	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	あり(地域に制限あり、要相談)
12	主に支援を行っている年齢層	小学生のみ	中学生～高校生
13	具体的な支援のプログラム(1日の流れについて)	1人60分の個別化された指導	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れ 来所→手洗いうがい→バイタルチェック→プログラムに沿った活動 ・主なプログラム パソコン(タイピング、Excel、Word等) ソーシャルスキルトレーニング、作業訓練、ビジネスマナー等
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	視覚的支援	個々の特性の理解と、スタッフ間で情報を共有し子供たちが混乱しないように共通した支援を心掛けている
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	物理的構造化、視覚的構造化、スケジュール、ソーシャルストーリーズ	物理的構造化～刺激を減らす為、掲示物は最低限にしている。パーテーションによる個別スペース。イヤーマフ。視覚的構造化～個々の特性に応じて作成(スケジュール・手順書)
16	就労している母親への配慮		要望に応じて可能な範囲で対応
17	学校との具体的な連携内容	学校への訪問支援(保育所等訪問支援等)	事業所見学の受け入れ 担当者会議への参加 行事の参加 保護者様同意のもと、学校送迎時の情報交換
18	利用相談窓口担当者名	田中 貴子	佐藤
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	14時～17時30分	10:00～18:30

【南部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㉓こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森桜川校	㉔児童デイサービスあおねっと青森南
2	住所	青森市桜川6丁目14-10	青森市大字大矢沢字里見92-1
3	電話	718-3395	757-9165
4	FAX	718-3395	757-9166
5	利用日・時間	火～土 10時～19時	月～金 13:45～17:00 学校休業日 10:00～16:00 延長支援 17:00～17:59 ※送迎時間を含まず
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	児童発達支援と合わせて 10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	なし	なし(令和4年3月末まで空きがない状況。)随時要確認
8	スタッフの人数	4名	統括管理責任者1名 所長兼児童発達支援管理責任者1名 保育士4名 児童指導員1名 指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	有
12	主に支援を行っている年齢層	小学生～高校生	小学生から高校生まで
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別支援 1時間 (例)挨拶→今日の流れ→課題→挨拶→フィードバック	個別・集団・生活支援(季節ごとの行事含む)
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	言葉、認知、コミュニケーションに加え、発達に遅れや偏りが見られるお子様には、将来の自立に向け必要なスキルの習得を促していきます。	スケジュールを設定し、見通しを持って過ごし、安全な環境(ハード・ソフト面への配慮)でのサービスの提供
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの提示	・事業所内のエリアごとにパーテーションの設置と、視覚的支援(スケジュール、コミュニケーションツールを使用した絵カード等での支援)
16	就労している母親への配慮	必要に応じて可能な範囲で対応	延長支援(17:00～17:59)での対応
17	学校との具体的な連携内容	保護者様の要望により情報交換等を行っています。	・相談支援事業所が開催する支援会議への参加、児童引き受け時、連絡帳等での状況と情報共有
18	利用相談窓口担当者名	櫻庭	工藤 志穂
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	10:00～19:00	9:00～17:00

【南部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㉕放課後等デイサービス まあむMs	㉖放課後等デイサービスまあむ あおば
2	住所	青森市青葉2丁目2-2 1階	青森市青葉2丁目2-2 2F
3	電話	080-4191-5337	017-764-0027
4	FAX	764-0028	017-764-0028
5	利用日・時間	営業時間 : 午前9:00~午後5:30 サービス提供時間 : (月~金)午後1:00~午後5:00 (土・休校日)午前10:00~午後5:00	月曜日~土曜日 9:00~18:00
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	若干名	若干名
8	スタッフの人数	管理者兼児童発達管理責任者1名、児童指導員2名、保育士2名、指導員(無資格)2名)	管理者兼児童発達支援管理責任者1名 保育士3名 児童指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有り	有り
12	主に支援を行っている年齢層	小1~中3	小1~中3
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	<平日> ・始まりの会・個別課題・おやつ・はみがき・集団活動またはレクリエーション・帰りの準備 <休校日> ・始まりの会・個別課題①・余暇活動・昼食・はみがき・休憩・個別課題②・余暇活動・おやつ・はみがき・集団活動またはレクリエーション・帰りの準備	<平日> ・始まりの会・個別課題・おやつ・集団活動またはレクリエーション・帰りの会 <休校日> ・始まりの会・個別課題①・余暇活動・昼食・休けい・個別課題② ・余暇活動・おやつ・集団活動またはレクリエーション・帰りの会
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・環境設定の整備。 ・自己選択・自己決定する機会を設定。 ・継続したアセスメントの実施。 (置かれている環境に対するアセスメントも含む) ・エンパワメントに着目し「できた!!」を自信に繋げる。 ・スモールステップで前進する支援の提供。 (個別→集団へ適応する力の習得)	・環境設定の整備 ・自己選択 自己決定する機会を設定 ・継続したアセスメントの実施 (置かれている環境も含む) ・エンパワメントに着目「できた」を増やし達成感につなげる ・スモールステップで行う支援の提供(個別から集団へ適応する力の習得)
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・一人ひとりの特性に合わせたスケジュールの提示。 ・活動ごとの部屋分け。 ・絵カードを使用した個別、集団活動。	・一人ひとりの特性に合わせたスケジュールの提示。 ・活動ごとに部屋分け。 ・絵カードを使用した支援。
16	就労している母親への配慮	・定期的な面談の実施。 ・その他、相談があった場合、その都度対応。	・定期的な面談の実施。 ・その他相談があった場合、その都度、対応。
17	学校との具体的な連携内容	・送迎時、その日の様子を確認する等の情報共有の実施。 ・その都度、緊急性のある情報等の電話連絡。 ・個別ケースに伴う連携会議の実施。	・送迎時、その日の様子を確認する等、情報共有の実施。 ・その都度、緊急性のある情報等の電話連絡。 ・個別ケースに伴う連携会議への参加。
18	利用相談窓口担当者名	長尾 かおる	成田 圭太
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	午前9:00~午後5:30	午前9:00~午後5:30

【南部】

【東部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㉗Eat-in by きらら	㉘放課後等児童デイサービスやまぶき
2	住所	青森市浜田2丁目15-16	青森市雲谷字山吹92-285
3	電話	017-763-5570	738-5564
4	FAX	017-763-5576	738-6411
5	利用日・時間	月曜日～金曜日(祝日は営業)10:00～12:30 土曜日、日曜日は休業	月～金 13時～16時45分 土 8時～16時45分
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	20名
7	空き状況(R2.3.1現在)	有り	0名
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士3名 児童指導員1名 指導員1名	2～3名(管理者兼務)
9	車椅子を使用している児童の受入	無	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有り	なし
12	主に支援を行っている年齢層	小学生、中学生、高校生	6歳(小1)～9歳(小3)まで
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別学習・運動。遊び(感覚統合を取り入れたもの) おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り	個別支援のみ 1対1のかかわりの中で、言語認知、社会性、運動等の全般的な発達を促すための支援を実施
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	特性の理解と状況に合わせた対応 TACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援	家庭及び学校での状況確認と支援当日の体調や行動面の変化等の情報収集
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの構造化(絵・写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じ使用(社会性を養う)	課題ごとにケースに教材を入れ、当日行う課題の順番や終了の見通しが立てられるように配慮しています。
16	就労している母親への配慮	平日、休日の送り出しをPM6時に設定予定 平日週2回の夕食の提供、休日の昼食の提供予定	支援予定日に仕事の都合で曜日や時間の希望があった場合、相談に応じています。
17	学校との具体的な連携内容	保護者に同意を得た上で情報交換 緊急連絡体制の確認	保護者の了解を得ながら担当教諭等と情報交換を行っています。(個別支援の見学等を含む)
18	利用相談窓口担当者名	児童発達管理責任者 遠山 裕一	工藤
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	管理者兼児発管 遠山 裕一 9:00～17:00	8時～16時30分

【東部】

【東部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊸ デイサービスセンターはっこう	㊹ ふらわあ
2	住所	青森市大字横内字桜峯63-1	青森市大字駒込字月見野918-3
3	電話	728-2725	765-5520
4	FAX	738-2116	765-5521
5	利用日・時間	月～金 下校～17:00 学休日 10:00～16:00	月～金、9時～17時 (長期休業期間 9時～16時)
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	要相談	若干の空きあり
8	スタッフの人数	5名	6名(常勤4, 非常勤2)
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり(要相談)	あり
12	主に支援を行っている年齢層	小・中・高校生	7歳から18歳(小学生～高校生)
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	おやつ、個別指導、余暇、自立課題、制作、季節行事	放課後の利用の場合…課題を1～3セット、おやつ、余暇、16時過ぎより体育館遊び、外遊び等 長期休業期間の場合…午前、課題1セット、午後、課題を2セット、余暇、ドライブや散歩、公園遊び、15時過ぎより体育館遊び
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	個々の特性に合わせた支援に努めている	お子さんが将来、ご本人なりに自立できることを目指し、自分で出来ることを増やす。それにより自己肯定感を育んでいく。個々に合わせたスケジュールを用意し、自分で分かって動ける支援。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	物理的構造化、スケジュール、ワークシステム、視覚的構造化を用い、自立を高める。	個別のスケジュール、送迎の座席表、利用状況を提示。活動ごとのエリア分け。パーテーションを使った刺激の調整、カードを用いたコミュニケーション支援。
16	就労している母親への配慮	送迎の順番を遅くする等、可能な限り保護者の希望する時間に送り届ける	送迎の順番を最後のほうにしたり、出発時間を遅らせるなど、出来る範囲で配慮するようにしている。
17	学校との具体的な連携内容	・学校迎えの際、担任と情報交換 ・必要に応じて支援会議	送迎時の情報交換、支援会議への参加など。
18	利用相談窓口担当者名	佐々木 健介	松尾 嘉則
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	月～金 10:30～16:00	10時～17時

【東部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑪社会福祉法人 清養会 デイサービスセンター ケヤキ	⑫放課後デイサービスきらら筒井
2	住所	令和3年4月1日移転 青森市大字泉野字野脇46-61 地域生活支援センター2階	青森市筒井4丁目1-26
3	電話	763-4447	764-0900
4	FAX	752-8886	764-0901
5	利用日・時間	1登校日 13:00~18:00 2学休日 9:00~17:00	月~金曜日(祝日営業) 学校登校日13時30分~17時30分 土・日曜日 休 学校休業日10時~17時
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	要相談	応相談
8	スタッフの人数	児童指導員3名、保育士2名	管理者兼児発管1名 保育士3名 指導員2名
9	車椅子を使用している児童の受入	要相談	現在は受入無し
10	医療的ケアが必要な児童の受入	不可	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり(範囲は要相談)	あり
12	主に支援を行っている年齢層	6~18歳	小学生、中学生、高校生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	小・中・高等部毎のプログラム ※個別学習、余暇、運動等	(平日) 送迎、おやつ、学習・個別指導、運動・自由活動、レクリエーション、送迎 (長期休業日) 送迎、学習、運動・自由活動、昼食、個別指導、創作活動 (祝日) おやつ、運動・自由活動、レクリエーション、送迎
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	個々の障がい特性等に配慮した個別的支援の充実 ※行動障がいの軽減等を効果的に推進するため、PDCAサイクルを活用する。	・子どもの発達過程や特性、適応行動の状況を理解すること ・信頼関係を築くこと ・楽しさを味わえること ・自己選択、自己決定を促すこと
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	実施[プログラムの提示等] ※クールダウン等の環境配慮で感覚刺激スペースの確保	・物理的構造化(刺激を取り除き、場面設定をする) ・スケジュールの構造化(実物、絵、写真、文字などの方法で示す) ・ワークシステム(時間や量、いつ終わるか、次の活動を示す) ・視聴的構造化(写真と実物を対応させる)
16	就労している母親への配慮	要望に応じて可能な範囲で対応	応相談
17	学校との具体的な連携内容	必要に応じて、個別支援活動の提示や事業所での様子見学等実施している。	保護者の同意を得た上で情報交換 緊急連絡体制について
18	利用相談窓口担当者名	五日市 清孝	児童発達支援管理責任者 倉内 恵里子
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	平日 10時以降	9:30~17:00

【東部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊸ゆうきつず びあ 2	㊹児童支援事業所 ハピネス
2	住所	青森市けやき2丁目1-7	青森市大字浜館字見取26-12
3	電話	763-5144	017-718-5785
4	FAX	763-5145	017-718-5786
5	利用日・時間	月～金 14:00(下校時間)～17:00 (土日祝・年末年始を除く) 学校休業日 10:00～16:00	月曜～金曜 9:00～17:30 (土曜日、日曜日、祝日休み)
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	なし	0名
8	スタッフの人数	児童発達管理責任者1名 保育士1名 児童指導員2名 指導員2名	管理者兼児発管1名 保育士3名 運転手1名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	あり
12	主に支援を行っている年齢層	小学校1年生～中学校3年生まで	小1～小5
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	学校終了後—おやつ→宿題→個別課題→自由遊び→集団活動 ※集団活動(ビジョントレーニング・レクリエーション・製作など) 休校日—運動→買い物訓練→宿題→個別課題→昼食→お散歩→制作(季節)→集団活動(ビジョントレーニング・レクリエーションなど)→自由遊び→お手伝い課題 ※園外活動(アスパム・水族館・お食事ツアーなど)	荷物の整理、連絡帳の提出→健康状態の確認→学校での様子を共有→個別プログラム(主に宿題)→自立課題→小集団活動、または個別活動→おやつ→自由遊び→片付け→ラジオ体操→送迎出発
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・個々の特性を理解し、それぞれが少しずつ成長していけるように。 ・子どもたちにとって楽しく・安心できる居場所となるように。 ・小さな「できた事」を褒め、自信が持てるように！ ・ひとりほとりの「得意な分野」を伸ばしていけるように！ ・将来子どもたち・家族が「少しでも生きやすく・安心して暮らせていけるように！」	・おやつは自分で選び決められるようにしている。(自分で決められないお子さんはスタッフと一緒に決めます) ・特性に配慮し、自分で主体的にできるようスケジュールの活用を実施している。 ・今後、社会生活を送る上での課題につなげられるよう、生活面での取り組みに重点をおいている。 ・ルールや決まり事を守ることができるよう、人と関わることの大切さを学ぶことができるようにしている。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	その児童のスケジュールを個別に考え、プランを立てています。施設はオープンでありながら、個別に学習できるスペースを設け、構造化を図っています。	必要に応じてスケジュールの活用や、部屋ごとの構造化を実施
16	就労している母親への配慮	要望に応じて可能な範囲で対応	送迎、臨時利用の受け入れ
17	学校との具体的な連携内容	学校行事の見学 事業所見学の受け入れ 担当者会議への参加 保護者了解を得て学校迎え時担任と情報交換を行っている(個別支援の見学等を含む)。	・送迎時にその日の様子等を申し送り ・参観日等を活用し、授業の様子を保護者と一緒に確認。 児童会での様子を確認することもあります。 ・必要に応じて会議等の実施。
18	利用相談窓口担当者名	管理者 石村 美樹	児童発達支援管理責任者 鹿内
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:00～18:00	9:00～17:00

【浪岡地区】

【浪岡地区】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊸独立行政法人国立病院機構 青森病院 多機能型通所支援事業 あお空	㊸放課後等デイサービス事業所 みらいの里ミント
2	住所	青森市浪岡女鹿沢字平野155-1	青森市浪岡大字樽沢字上野74-1
3	電話	0172-62-4055	0172-69-1234
4	FAX	0172-62-7289	0172-69-1233
5	利用日・時間	月～金 8:30～16:30	平日11:30～18:30 土、学校休業日9:00～17:00
6	定員	5名	10名
7	空き状況(R2.3.1現在)	曜日によって空きあり	曜日によって若干の空きあり
8	スタッフの人数	4名	7名 (管理者1、児発管1、保育士2、児童指導員3)
9	車椅子を使用している児童の受入	可	現状では難しい
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	1町内の小学校、養護学校 2自宅送迎は町内及び近隣市町村
12	主に支援を行っている年齢層	6歳～18歳	6～18歳 小学生から中学生の児童が多い
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	放課後利用:健康チェック、日中活動 休業日利用:健康チェック、日中活動、昼食、日中活動、おやつ (入浴は希望者のみ、曜日によって時間帯が違う)	個別の課題、余暇、おやつ、創作活動など
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	寝たきりで医療的ケアが必要な利用者がほとんどなので、看護師に付き添ってもらい、安全面に配慮して日中活動を行っている。	視覚的手掛かりの活用
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	重症児対象のため、発達障害の受け入れなし	スケジュールやワークシステム、パーテーション
16	就労している母親への配慮	特になし	要相談
17	学校との具体的な連携内容	月1回、学校主催で療育会を開催し、情報交換している。 個別支援計画作成に当たり、年1～2回担任とケア会議を行っている。	保護者を通じての情報交換や送迎時に先生に直接質問するなど
18	利用相談窓口担当者名	児童指導員 澤田 周平	加藤
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	8:30～17:05	平日9:30～14:30